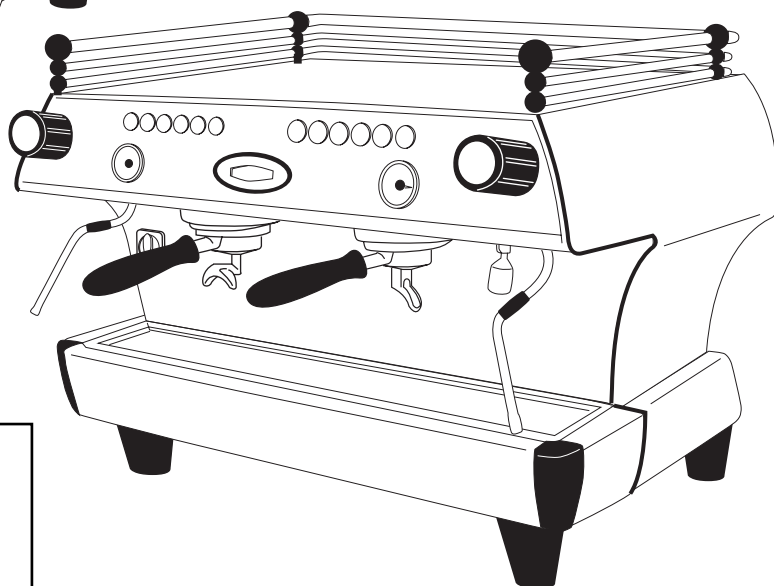
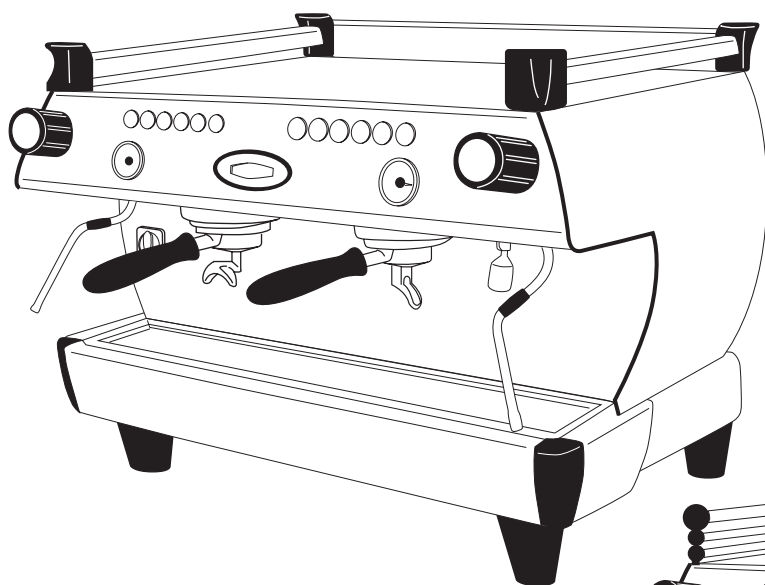
業務用コーヒー抽出機

エスプレッソコーヒーマシン

GB-5-2, 3
FB-80-2, 3

取扱い説明書

目　次　　　　頁

このたびは LA・MARZOCCO エスプレッソコーヒーマシンをお求めいただき、まことにありがとうございます。

ご使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、十分にご理解いただいたうえで正しく操作してください。

この説明書は、必要な時にいつでもお読みいただけるようわかり易い場所に大切に保管してください。

安全上の注意事項

ご使用になる前に　この安全上の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。

表示内容は次の通りです。

⚠ 警告	守られないと、重大な人身事故や死亡事故につながる可能性のある事柄。
⚠ 注意	守られないと、人に傷害を与えたり物損事故につながる可能性のある事柄。

これらの警告・注意事項をよくお読みいただき、必ず守ってください。

⚠ 警　告
据付工事は、お買い上げ店または専門業者に依頼すること ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。
アース工事を必ず行うこと アース工事はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。 アースが不完全な場合は、感電の原因になります。(電気工事士による第3種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。)
本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に直接接続すること 電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。
電気工事は「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回線を使用すること 電源回路不良、容量不足や施工不備があると、感電や火災の原因になります。
屋外で使用しないこと 雨水のかかる場所で使用されますと、漏電や感電の原因になります。
製品に直接水を掛けないこと 漏電、ショート、感電、錆、故障の原因になります。
機械内部の電気装置や配線に触らないこと ヤケドや感電のおそれがあります。
電源コードを傷つけないこと 加工したり、引っ張ったり、束ねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。
漏電遮断器が「OFF(切)」に作動したときは、お買上げ店に連絡すること 無理にレバーを「ON（入）」にすると、感電や火災の原因になります。
電源プラグはほこりが付着していないか定期的に確認し、根元まで確実に差し込むこと ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。
濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、各スイッチを操作しないこと 感電の原因になることがあります。
異常時はメインスイッチを「OFF(切)」にし、電源プラグを抜くか(電源プラグを使用の場合)、専用電源を切って、すぐにお買上げ店に連絡すること 異常のまま運転を続けると、感電や火災の原因になります。
熱湯ノブおよびスチームノブを操作するときは、熱湯ノズル、スチームノズルがドリップトレーに向いているか確認すること　また、顔や手などに向けないこと ヤケドの原因になります。
顔や手、または他人にスチームノズルを向けないこと ヤケドの原因になります。
容器にコーヒー、スチーム、熱湯を取り出す場合、容器はドリップトレー上に置くこと 持ったまま取り出すと、ヤケドの原因になります。
修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理は行わないこと 異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると感電や火災の原因になります。
改造は絶対に行わないこと 改造されると、水漏れや感電、火災の原因になります。
移設は専門業者か、お買上げの店に相談すること 据え付け不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。
廃却は専門業者か、お買上げの店に依頼すること 放置しますと、幼児などがケガをする原因になります。

安全上の注意事項

⚠注　意

床面が丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること
据え付けに不備があると、水漏れや転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。

本機の周囲は、壁およびものから10cm以上空けること
熱がこもると電子制御部品に影響をおよぼし、故障の原因になることがあります。

直射日光の当たる所や、周囲の温度が32℃以上の高温になる所には据え付けないこと
電気部品の故障の原因になります。

水をこぼしても良い所に据え付けること
使用中にコーヒーや湯、蒸気などが周囲に飛び散ることがありますので、濡れると不都合なところでは、防水処理をしてください。

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないようにすること
スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。

熱器具の近くに据え付けたり、機械の上に熱器具を乗せたりしないこと
熱で本体が損傷して故障の原因になります。

凍結の恐れのある場所へは据え付けないこと
機械の故障の原因、および給水管の破裂から浸水し、周囲を濡らす原因になることがあります。
凍結の恐れのある場所への据え付けの場合は、お買上げ店にご相談ください。

本機の上に重量物や水を入れた容器を置かないこと
落下してケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になることがあります。

製品にもたれたり、乗ったりしないこと
ヤケドや製品転倒によるケガの原因になります。

給水に使用する水は、必ず飲料水を使用すること
他の水は、健康障害の原因になることがあります。

水道圧力は、流れている状態で1.5kg/cm²以上で使用すること
水圧が低いと、機械は正常に作動しません。1.5kg/cm²以下の場合は、お買上げ店にご相談ください。

断水の時はメインスイッチを「OFF(切)」にし、水道栓を閉めること
開けておくと通水時“赤水”が発生し、不衛生な水が機械に給水されます。

断水後や定休日明けの使用前には、必ず機械内部の水を入れ替えること
水の腐敗から、健康障害の原因になることがあります。

スチームノズルは、装着してある断熱ゴム以外の金属部分に直接手を触れないこと
ヤケドの原因になることがあります。

一日の営業終了後は、必ず接液部分および部品は洗浄すること
洗浄しないと雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります。

自動洗浄以外の掃除や点検の時は、必ずメインスイッチを「OFF(切)」にして、専用電源も切ること
感電したり、ヤケドの原因になることがあります。

電源プラグを使用している場合、プラグを抜くときに電源コードを持って抜かないこと
必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災の原因になります。

付属の専用液体洗浄剤を取り扱うときは、ゴム手袋を着用すること
素手で取り扱うと、手荒れ原因になることがあります。

一週間以上ご使用にならない場合は、安全のためメインスイッチを切って、本機専用電源も「OFF(切)」にし、電源プラグを使用の場合はコンセントから抜くこと
発熱や発火の原因になることがあります。

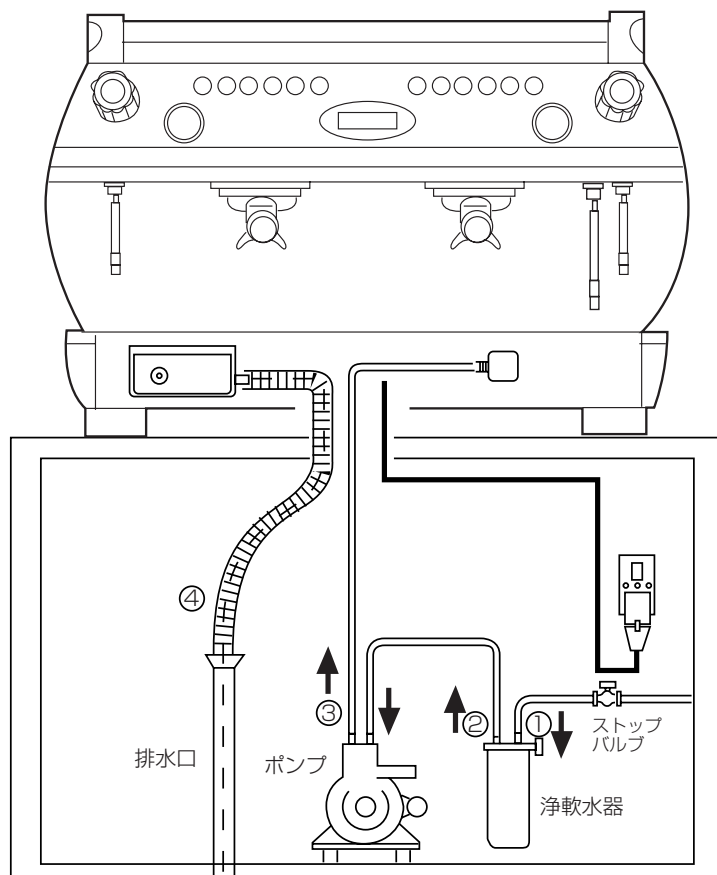
排水管に詰まりがないか始業時に点検を行うこと
排水管が詰まると、漏水から周囲を濡らす原因になることがあります。

漏電遮断器は月に1回、動作確認すること
漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になることがあります。

本機を他に売ったり、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つところにテープ止めすること

設置

下記のパーツが入っているかチェックしてください。（　）内の数字は、3連用のパーツです。

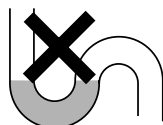
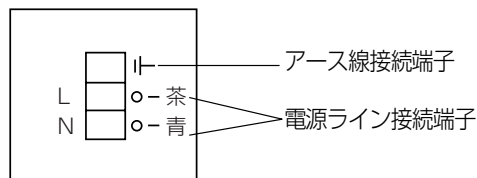
- 1人用フィルターホルダー…………1（1）
- 2人用フィルターホルダー…………2（3）
- ブラインドフィルター……………1（1）
- タンパー…………………………………1（1）
- エスプレッソ洗浄剤［560g］………1（1）
- 給水用メッシュチューブ……………1（1）
- 排水用ホース［1.5m］………………1（1）
- ホース留め金…………………………1（1）
- 洗浄ブラシ……………………………1（1）

※ポンプ及び浄軟水器の設置スペースをご用意ください。

配管例

① 接続の前に、ストップバルブより水を充分に流出し、水道管内の異物を取り除きます。

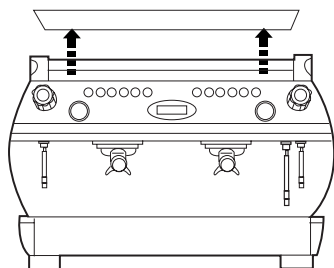
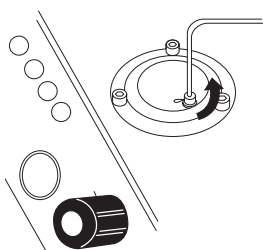
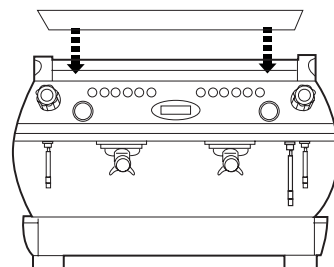
② 浄軟水器OUT側の接続前にも浄軟水器に充分に水を通してカートリッジ内の微粉などを取り除きます。

③ 増圧ポンプのIN・OUTを確認してから本体までの配管接続を行ってください。

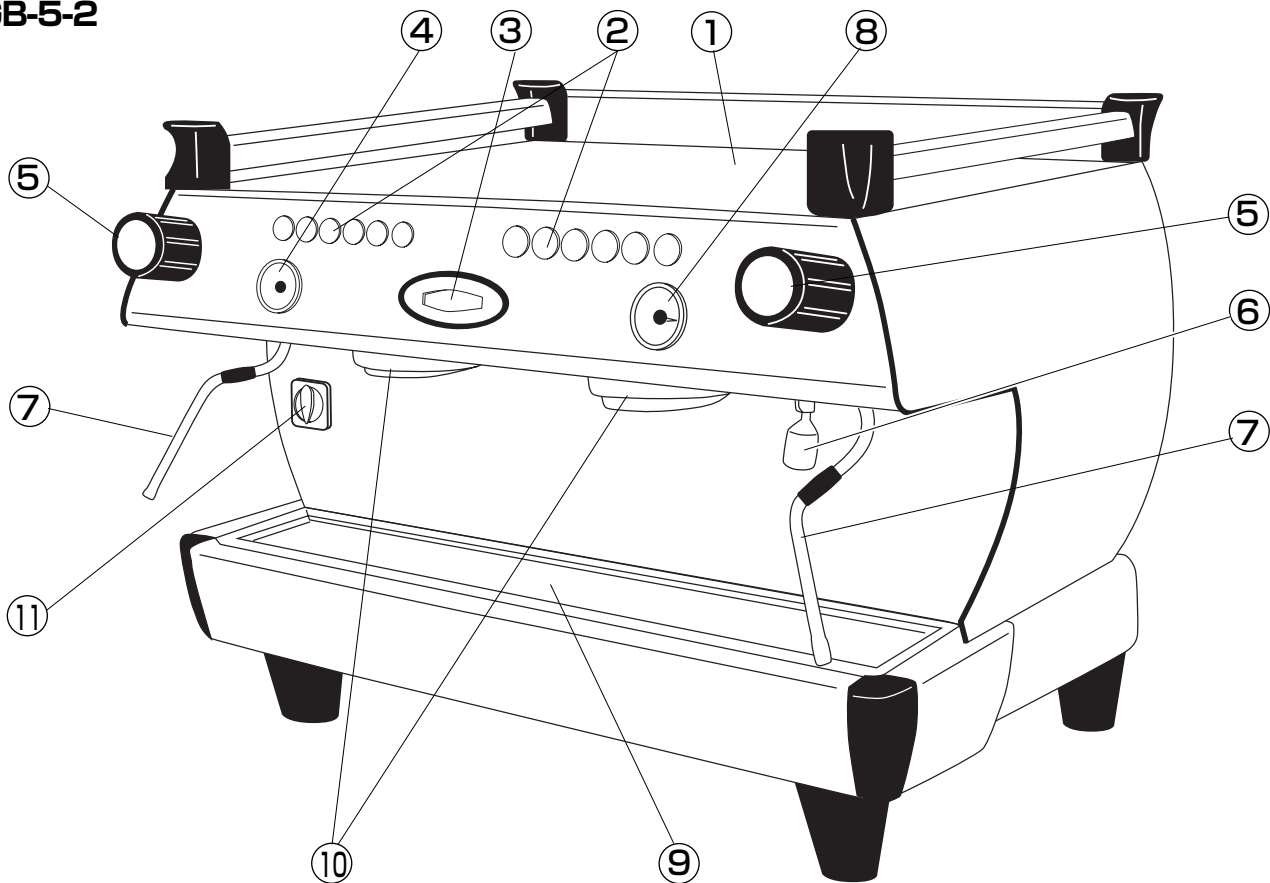
④ 排水ホースは、できるだけ最短距離を選び、トラップが発生しないようにご注意ください。

増圧ポンプの電源端子

※設置時と浄軟水器の交換時に必ず行ってください。

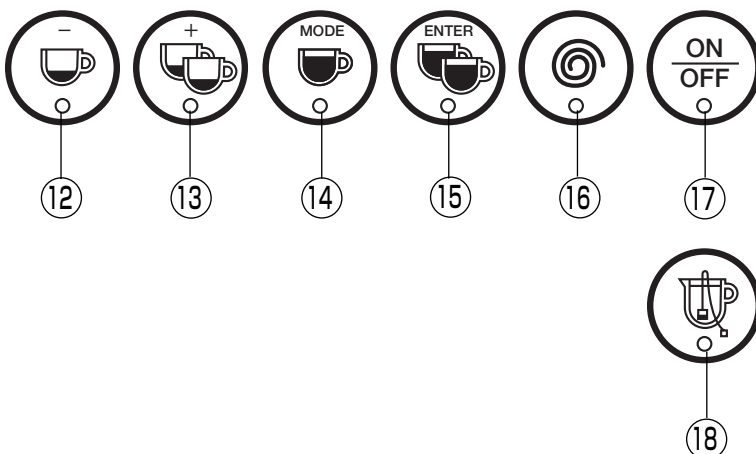
コーヒーボイラーの空気抜き

エスプレッソマシンの設置が完了し、ストップバルブを開くと、コーヒーボイラーに水が流入します。
流入水がコーヒーボイラー内の空気を圧迫しますので、空気を逃がすために空気抜きが必要になります。

1 **天板（カバープレート）を外してください。**

2 **抽出装置の小さな六角ボルトをゆるめます。**
抽出装置から水が2～3滴出てきましたら空気が抜けた事になります。

3 **六角ボルトを再度締め付けて、天板（カバープレート）を取付けてください。**

※必ず、上記操作をそれぞれの抽出装置で行ってください。

各部の名称

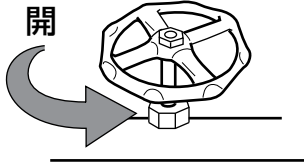
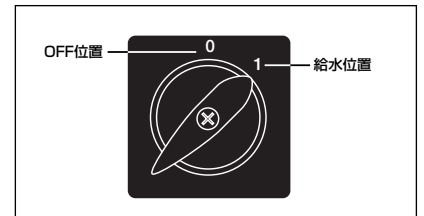
GB-5-2

① 天板（カバープレート）
② 抽出ボタン
③ ディスプレイパネル
④ スチームボイラー圧力計
⑤ スチームノブ
⑥ 熱湯ノズル
⑦ スチームワンド（ノズル）
⑧ 抽出圧力計
⑨ ドリップトレー
⑩ エスプレッソ抽出装置
⑪ 電源スイッチ

抽出ボタン

⑫ エスプレッソボタン　小1杯用
⑬ エスプレッソボタン　小2杯用
⑭ エスプレッソボタン　大1杯用
⑮ エスプレッソボタン　大2杯用
⑯ スパイラルボタン（プログラム）
（スタート・ストップ）
⑰ ON/OFFボタン
⑱ 熱湯ボタン

操作方法

始 業 時 手 順

1 **水道の元栓を開いてください。**

2 **電源スイッチを1（給水位置）に回してください。**
（ディスプレイパネルの表示がOFF表示の場合は、抽出ボタンのON/OFFボタンを押してください。）
ボイラータンク内の水量が減っている場合は、自動的に給水が始まります。
適量範囲まで給水されれば、自動的に給水は停止します。
その後、ヒーターに通電されてボイラータンク内の水を沸かし始めます。

3 **抽出ボタンと熱湯ボタンのランプが赤く点灯すれば適温となり抽出可能です。**
表示が適正圧力まで上がるのに、機種により20分～35分程度かかります。

エスプレッソコーヒーの抽出のしかた

1 **フィルターホルダーが冷たい時は、抽出したコーヒーがぬるくなりますので、コーヒー抽出ボタンを押して熱湯だけを出し、フィルターホルダーをあらかじめ温めてください。**
（ポルトフィルターはフィルターホルダーにセットしておいてください。）

2 **フィルターホルダーを、抽出装置より外してください。**

3 **フィルターホルダーのポルトフィルター内に、適量のコーヒー粉を入れてください。**

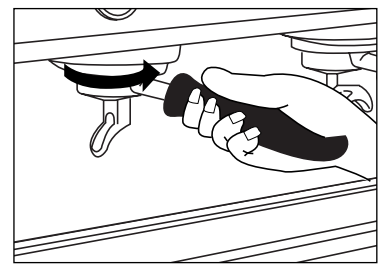
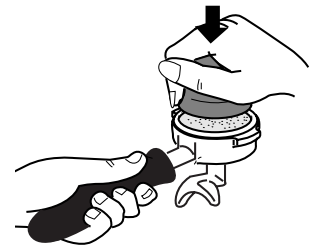
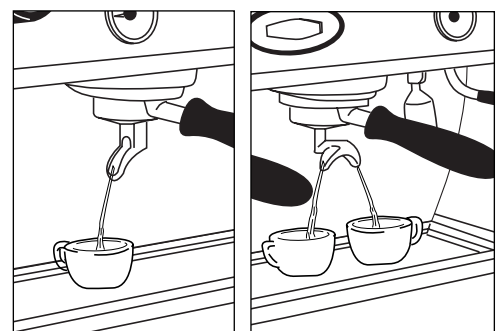
4 **タンパーでコーヒー粉を軽く押さえて平らにしてください。**
フィルターのフチについた粉は手の平で拭き落としてください。

5 **フィルターホルダーを左約40°位の方向より抽出装置に入れ、正しく納まれば、右方向へ止まるまで回してください。**

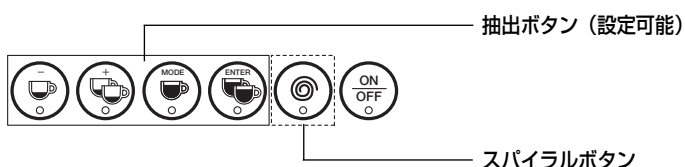
6 **抽出口の下にカップを置き、抽出ボタンのランプが点灯している事を確認し、お好みの抽出ボタンを押してください。**

7 **設定された量のコーヒーが抽出されると、自動的に抽出が停止します。**
（コーヒー抽出量の変更は、P6「コーヒー抽出量の設定」を参照して行ってください。）

8 **抽出後のフィルターホルダー内のコーヒーカスは、すぐに捨てずに次の使用時までそのままにしておいてください。**

●スパイラルボタンは、手動でエスプレッソコーヒーを抽出する時に使用してください。

■エスプレッソコーヒーカップの置き方

1人分　　2人分

※左右のコーヒーカップの抽出量にバラツキがある場合は、本体が水平に置かれているかご確認ください。

操作方法

コーヒー抽出量の設定

1 **コーヒー粉を入れたフィルターホルダーをエスプレッソ抽出機にセットしてください。**

2 **抽出口の下にコーヒーカップを置いてください。**

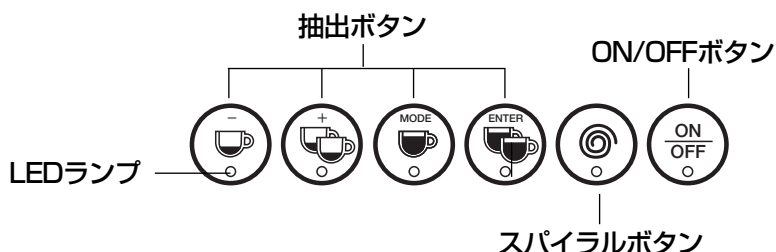
3 **抽出ボタンのLEDランプが赤く点灯している状態でスパイラルボタンを5秒間長押ししてください。**
ディスプレイパネルが"Water Volume Programming"表示になっているのを確認して
ボタンを離します。

4 **変更したいグループ（抽出装置）のスパイラルボタンを押しますと下部LEDランプが点滅します。**
点滅している間（1分以内）に設定量を変更したいエスプレッソボタンを押してコーヒーを
抽出してください。

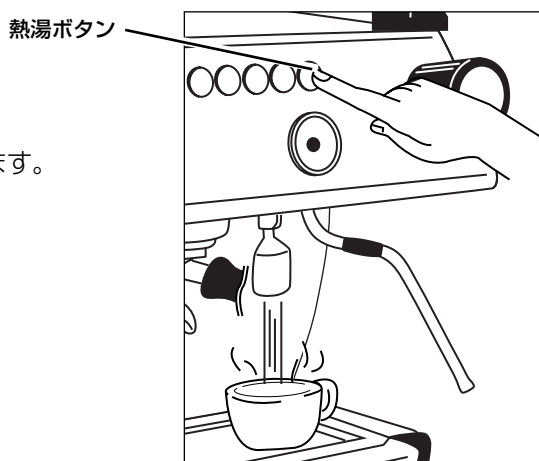
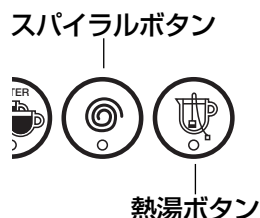
5 **お好みの量まで抽出して、再度スパイラルボタンを押してください。**
抽出が止まり点滅しているLEDランプが消えて、変更した設定量が記憶されます。

6 **最後に" ON/OFF "ボタンを押し抽出モードに戻ってください。**
引き続き同じグループ内のエスプレッソボタンの設定を行う場合は5の操作を行ってください。

7 **他のグループの抽出設定を行う場合は、3より繰り返し設定するか5の操作が終了した時点で**
60秒間待つとスパイラルボタンのLEDランプが消灯しますので、再度4より操作を行う事で
他のグループの変更ができます。

※左端の抽出装置の設定をしますと、
その他の抽出装置も同じ設定となります。
抽出装置の設定をそれぞれ異なる設定にする場合は、
必ず左端の抽出装置より設定してください。

熱湯の取り出し方

1 **熱湯ノズルの下に容器を置いてください。**

2 **熱湯ボタンを押してください。**
設定されている量の熱湯が給湯され、自動的で停止します。

操作方法

熱湯抽出量の設定

1 **熱湯ボタンのLEDランプが赤く点灯している状態でスパイラルボタンを5秒間長押ししてください。**
ディスプレイパネルが"Water Volume Programming"表示になったことを確認して
ボタンを離します。

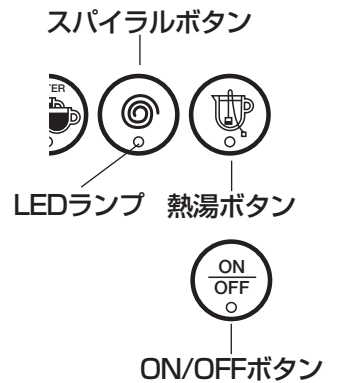
2 **変更したい熱湯ボタンのグループ（抽出装置）のスパイラルボタンを押します。**
スパイラルボタンのLEDランプが点滅します。

3 **点灯している間（1分以内）にグループ内の熱湯ボタンを押すと熱湯の抽出が開始されます。**

4 **お好みの量まで抽出して、再度熱湯ボタンを押してください。**
抽出が止まり点滅しているLEDランプが消えて、変更した設定量が記憶されます。

5 **最後に" ON/OFF "ボタンを押し抽出モードに戻ります。**

6 **他のグループの熱湯ボタンがある場合は、1～5を繰り返し設定してください。**

※熱湯ボタンの抽出量設定は熱湯ボタン毎に行ってください。

蒸気の取り出し方

1 **スチームノズルを、あらかじめドリップトレーに向けておいてください。**

2 **スチームノブを回して開き、水抜きをしてください。**
この時、熱湯が勢い良く飛び出しますのでご注意ください。

3 **蒸気が出るようになれば、いったんスチームノブを戻して閉じ、**
スチームノズルを飲料の入った容器に入れてください。

4 **再度、スチームノブをゆっくりと回して開いてください。**
使用後は、スチームノブを戻して閉じ、容器をノズルからはずしてください。

5 **スチームノズルに付着した液を、水でしぼった清潔な布で拭き取ってください。**

6 **その後もう一度スチームノブを回して開き、数回蒸気を出す動作を行ってください。**
そのままにしておきますと、ノズル内に付着した液（ミルクなど）が固まり、
不衛生ですし、ノズル内が詰まり、故障の原因になることがあります。

プログラム一覧

《プログラミングモード》の各項目より《抽出モード》に戻るには ON/OFF ボタンを押してください。

カップウォーマーの設定

1. （−）または（＋）ボタンを押して、使用可能（ENABLED）か使用不可能（DISABLED）かを選択してください。
2. 希望の選択になったら（ENTER）ボタンを押して次の項目に進んでください。
   注）必ず（ENTER）ボタンを押してください。他のボタンでは設定は記憶されません。
3. 希望の選択になったら（MODE）ボタンを押して次の項目に進んでください。

コーヒーボイラーの温度設定

1. （ENTER）ボタンを押し温度表示状態にします。
2. （＋）または（−）ボタンで設定温度を調整してください。（1℃単位で設定可能）
3. 希望の温度設定になれば（ENTER）ボタンを押し（MODE）ボタンを押して次の項目に進んでください。

プログラム

各抽出杯数の確認

Dosed reading
Press + or -

1 または ボタンを押して、各ボタンの数値をスクロールしてください。

2 希望の選択になったら ボタンを押して次の項目に進んでください。

時計の設定

Clock adjust.
09: 30 Tuesday

1 時間表示が点滅しますので、 または ボタンを押して、時間を変更してください。

2 ボタンを押して、分表示を変更してください。同様に曜日表示も変更してください。

3 希望の選択になったら ボタンを押して次の項目に進んでください。

自動ON・OFF設定

Auto On/Off
On: --.--

1 時間表示が点滅しますので、 または ボタンを押して、“オン” 時間を設定してください。

2 ボタンを押して、“オン” 時間の分表示を設定してください。

3 ボタンを再び押して、“オフ” 時間を設定してください。

4 ボタンを再び押して、“オフ” 時間の分表示を設定してください。

5 ボタンを再び押して、“Closed on（定休日）” 項目を表示し、マシンをオフにしたい曜日を設定してください。

6 設定を終えたら、

ボタンを押してプログラミングモードから退出してください。

表示言語の選択

Language
English

1 または ボタンを押して、表示言語を設定してください。
イタリア語、フランス語、英語、ドイツ語から選択できます。

2 希望の言語を選択したら ボタンを押して確定し、次の項目に進んでください。

プログラム

コーヒーボイラーの温度設定

Temp. correction
Temperatures

1 ボタンを押すと、次のメッセージが表示されます。

Coffee Boiler 1
■■■■■■■■□□□□□□□□

2 または ボタンを押して、温度を設定してください。
ブロックひとつは華氏0.5度（摂氏0.28度）に相当します。

3 設定を終えたら ボタンを押して次の項目に進んでください。

合計抽出の設定

Total Doses
000

1 表示された数値は、マシンが製造した飲料の総計です。
この数値は調整・リセットはできません。

2 ボタンを押して次の項目に進んでください。

ディスプレイ表示変更

Crono Function
DISABLED

1 または ボタンを押して、使用可能（ENABLED）か使用不可能（DISABLED）かを選択してください。

2 希望の選択になったら ボタンを押して次の項目に進んでください。

注）必ず ボタンを押してください。他のボタンでは設定は記憶されません。

3 希望の選択になったら ボタンを押して次の項目に進んでください。

ユーザーネームの設定

User Name
▮

使用できる文字の一覧
ABCDEFGHIJKLMNOPQR
STUVWXYZ012345678
9():;'*+,-./!"#&<=>?@_

1 ユーザーネームの最初の文字が点滅します。 または ボタンを押して、
文字を変更してください。希望の文字が表示されたら ボタンを押して確定し、
次の文字の編集に移ってください。

2 設定を終えたら ボタンを押して次の項目に進んでください。

プログラム

むらし設定

Pre-Brewing
DISABLED

1 または ボタンを押して、使用可能（ENABLED）か使用不可能

（DISABLED）かを選択し、 ボタンを押して確定してください。
使用不可能を選択した場合、次のフィルターアラーム設定にいきます。
使用可能を選択した場合、必ずこの後の各ボタン設定をしてください。各ボタン設定を

せずに ボタンを押して次の項目にいくと、設定は使用不可能のままになります。

Key　1　Group　1
Ttot:20　Ton:10

数値の測定単位は10分の1秒です。
10という数値は1秒を表します。

2 使用可能と設定した場合、各ボタンのT（tot）とT（on）の数値が表示されます。
または ボタンで数値を設定してください。

3 数値点滅中は確定ではありません。設定を終えたら必ず ボタンを押して
次の項目に進んでください。
むらし設定をオンにしたい各サービスボタンに上記の手順を繰り返してください。
T（tot）とT（on）を0に設定すると、そのボタンのむらし機能は使用不可能となります。

4 設定を終えたら ボタンを押して次の項目に進んでください。

Key　1　Group　1
Ttot:50　Ton:40

T（tot）Total時間 50（5秒）

T（on）むらし時間 40（4秒）	待ち時間	本抽出時間

Key　1　Group　1
Ttot:50　Ton:50

T（tot）Total時間 50（5秒）

T（on）むらし時間 50（5秒）	本抽出時間

フィルターアラームの設定

Filter Alarm

1 または ボタンを押して、フィルター点検・交換が推奨されるまでの
水量を設定してください。

2 設定が終了したら ボタンを押して確定してください。

3 または ボタンで、予想される流速を変更できます。通常この数値は
変更しないでください。

4 希望の選択になったら ボタンを押して次の項目に進んでください。

スチームボイラーの設定

Filling-up
with　PUMP

1 または ボタンを押して、ポンプ有り（with PUMP）かポンプなし（without PUMP）かを選択してください。

2 希望の設定になったら ボタンを押して確定し、次の項目に進んでください。

熱湯の設定

Tea water
without　PUMP

1 または ボタンを押して、ポンプ有り（with pump）かポンプなし（without pump）かを選択してください。

2 希望の設定になったら ボタンを押して確定し、次の項目に進んでください。

スチームボイラーの圧力設定

Steam heat.Type
Pressure-switch

1 または ボタンを押して、圧力スイッチ（Pressure-switch）か温度プローベ（Temp.Probe）に設定してください。

2 希望の設定にしたら ボタンを押して確定し、次の項目に進んでください。

注）通常この設定は変更しないでください。

スチームボイラー温度設定

Steam Temp Cor.
■■■■■□□□□

1 または ボタンを押して、温度を調節してください。1ブロックは華氏0.5度（摂氏0.28度）です。

2 希望の選択になったら ボタンを押して次の項目に進んでください。

警告1）飽和水の温度は周囲の大気圧で異なります。海水面よりも高い位置では若干の温度調節が必要です。

警告2）スチームボイラーには高温の湯が入っています。華氏125度（摂氏52度）以上の熱湯は、火傷による死傷を生じる危険があります。

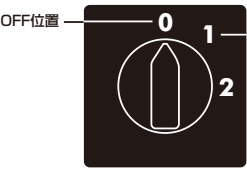
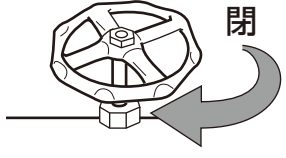
テクニカルパスワードの設定

Password
Setting　□□□

1 ENTER ボタンを押すと、新しいパスワード作成にとりかかることができます。グループ1のキーパッドの最初の5つのボタンを使って、新しいパスワードを入力してください。

2 設定を終えたら ON/OFF ボタンを押して次の項目に進んでください。

清掃

抽出装置の清掃（毎日の清掃）

1 抽出装置より、フィルターホルダーを外してください。

2 コーヒーカスを捨ててください。

3 付属の洗浄ブラシを使用してシャワープレートの外側を洗ってください。

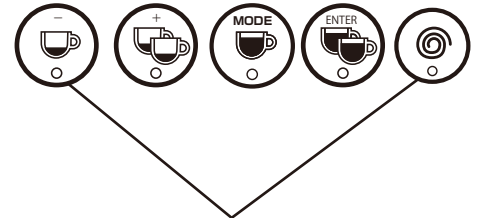
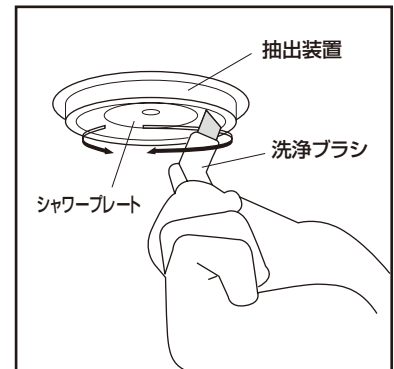
4 ブラインドフィルターをフィルターホルダーに取り付け、ティースプーン1杯（約8g）の洗剤を入れます。

5 フィルターホルダーを清掃したい抽出装置に取り付け、清掃したいグループの（◎）ボタンと（－）ボタンを同時に押します。

6 自動でクリーニングが開始されます。

7 フィルターホルダーを外し、5と同様にオートクリーニングを行いすすぎ洗いしてください。

8 再度、洗浄した抽出装置の抽出ボタンを押して熱湯を出し、シャワープレート部をきれいにすすぎ洗いしてください。
注意：洗剤成分が残らない様に、すすぎ洗いを必ず行ってください。

9 フィルターホルダー、ポルトフィルター、ブラインドフィルターをぬるま湯の入った容器などに入れて洗浄してください。

この２つのボタンを同時に押すとクリーニングモードに入る。

終 業 時 手 順

終業時の一連のクリーニングが終了したらメインスイッチを“0”(電源OFF) の位置にして、水道の元栓を締めてください。

1 左端グループの抽出ボタンの（ON/OFF）を3秒間長押しします。
ディスプレイはOFFを表示。

2 電源スイッチを 0（OFF位置）の位置に回します。

3 水道の元栓を閉めます。

	LA・MARZOCCO エスプレッソコーヒーマシン	
モデル	GB-5-2	GB-5-3
外形寸法(mm)	幅 690 / 奥行 475 / 高さ 425	幅 930 / 奥行 475 / 高さ 425
重量(乾燥重量)	58kg	74kg
電源：消費電力	単相200V：3600W 18A	単相200V：4800W 24A
ボイラー容量	コーヒー：3.4ℓ、スチーム：7.0ℓ	コーヒー：5.0ℓ、スチーム：11.0ℓ
エスプレッソ抽出能力	400杯／h	600杯／h
熱湯抽出能力	16ℓ／h	19ℓ／h
初動沸き上がり時間	20分	35分

	LA・MARZOCCO エスプレッソコーヒーマシン	
モデル	FB-80-2	FB-80-3
外形寸法(mm)	幅 690 / 奥行 475 / 高さ 425	幅 930 / 奥行 475 / 高さ 425
重量(乾燥重量)	58kg	74kg
電源：消費電力	単相200V：3600W 18A	単相200V：4800W 24A
ボイラー容量	コーヒー：3.4ℓ、スチーム：7.0ℓ	コーヒー：5.0ℓ、スチーム：11.0ℓ
エスプレッソ抽出能力	400杯／h	600杯／h
熱湯抽出能力	16ℓ／h	19ℓ／h
初動沸き上がり時間	20分	35分

注意：上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

製品保証書

<table>
<tr><td>型 式</td><td>GB-5-2 GB-5-3
FB-80-2 FB-80-3</td><td>機番</td><td>保証期間</td></tr>
<tr><td rowspan="3">お
客
様</td><td colspan="2">お名前　　　　　　　　　　様</td><td>お買上げ日より1カ年</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">ご住所　〒

電話（　　）　ー</td><td>お買上げ日</td></tr>
<tr><td>＊　　年　　月　　日</td></tr>
<tr><td colspan="4">＊販売店名

住所

電話（　　）　ー</td></tr>
</table>

本書はお買上げ日から上記期間中に故障が生じた場合に、本書下記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。
ご販売店さまへ：＊印欄は必ず記入してお渡しください。

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。無料修理をご依頼になる場合には、お買上げ店にお申し付けください。
2. 保証期間内でも次の場合には有料にさせていただきます。
   (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による、故障及び損傷。
   (ロ) お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
   (ハ) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷。
   (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
   (ホ) 本書のご提示がない場合。
   (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
   (ト) 遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する費用。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
4. 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
   ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
   従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。

ラッキーコーヒーマシン株式会社

本　　　社	〒663-8011 西宮市樋ノ口町1丁目10番41号	☎(0798)63-5100	FAX(0798)63-5108
東京支店・ショールーム	〒140-0011 東京都品川区東大井2丁目1番5号	☎(03)3764-8118	FAX(03)3764-0140
大阪支店・ショールーム	〒537-0001 大阪市東成区深江北3丁目5番7号	☎(06)4259-2655	FAX(06)4259-2660
名古屋支店・ショールーム	〒451-0046 名古屋市西区牛島町5-4 1F,2F	☎(052)587-7678	FAX(052)587-7677
福岡営業所・ショールーム	〒812-0068 福岡市東区社領2丁目10番1号	☎(092)624-1581	FAX(092)624-1583

04.10(100)01-001532